

平成 22 年度評価・検証事業の報告について (茨城大学への委託で実施した事業内容の一覧)

1. デマンド交通実証運行の対象に関する、運行計画の立案

- ・ 運行計画を立案し、地域公共交通活性化協議会、および、第 1 回・第 2 回^(※) 利用者専門部会、単位シルバークラブ等に参加し、説明を行いました。

(※…各シルバークラブの会長で構成している)

2. デマンド交通実証運行の評価・検証作業の準備

- ・ 事前調査に関して、アンケート調査票を作成し、利用者専門部会で説明しました。
- ・ 単位シルバークラブ等に参加し、アンケート調査の主旨を説明し協力要請を行いました。
- ・ 利用者専門部会を通して単位シルバークラブ等で配布を行っていただき、郵送回収された調査票の集計・分析を行いました。
- ・ 調査概要と主な結果については、2～6 ページ「デマンド交通専門部会による事前アンケートの集計結果報告」のとおりです。調査票は参考資料 1 に示します。
- ・ 事後調査に関する、利用者アンケートの項目・調査方法案を作成しました。また、デマンド交通の予約システムから出力されるデータ項目について整理を行いました。その後さらに検討を進めた結果としての平成 23 年度の調査予定は、7～8 ページ「デマンド交通 事後調査の実施予定」のとおりです。

3. Web ページを用いた情報提供

- ・ 協議会専用ホームページの更新作業を行いました。
- ・ 内容は、デマンド交通のしくみ、具体的な利用方法・事前登録方法、デマンド交通の運行開始式やその後の運行の情報などです。

デマンド交通専門部会による事前アンケートの集計結果報告

(1) 調査の目的

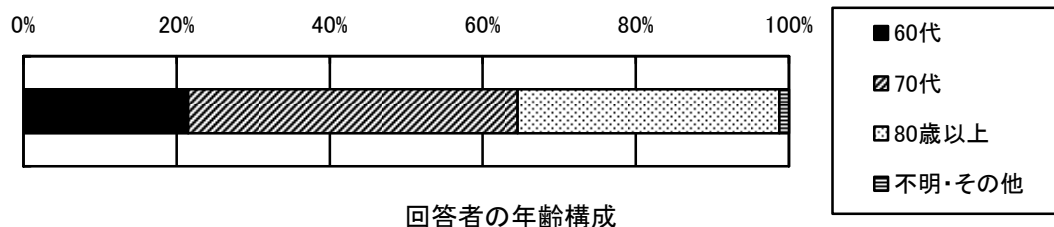
- ・ 運行内容についての周知度の確認 → さらなる周知を検討する際の参考とする。
- ・ 予想される利用目的地・頻度・時間帯 → 運行形態の改善を検討する際の資料とする。
- ・ 移動制約の現状(外出頻度とそれへの満足度) → 事後評価を行う際の比較対象とする。

(2) 調査方法の概要

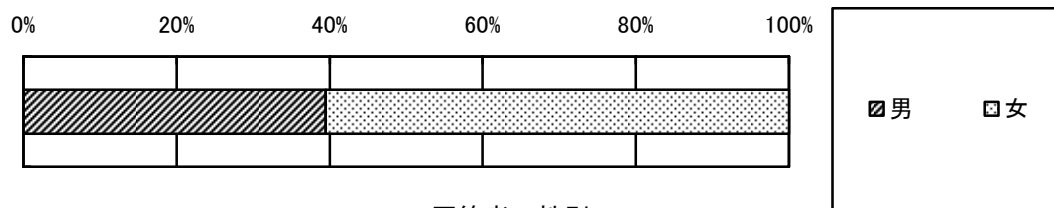
- ・ H22年12月～23年1月の間に各シルバークラブで設定していただいたデマンド交通説明会において、返信用封筒を添付して調査票(参考資料1参照)を配布しました。
- ・ 説明会に欠席された方にも、各シルバークラブからの配布をお願いしました。
- ・ 約400部を用意し、郵送にて回収された83票について分析を行いました。

(3) 回答者の属性

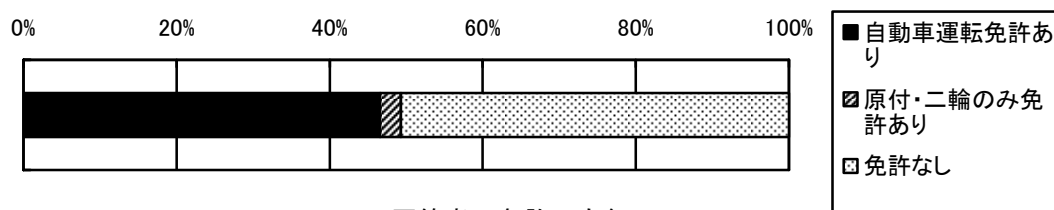
- ・ 年齢は60～80代に分布しており、回答者はやや女性の割合が高くなっています。
- ・ 約半数が免許を持っており、また8割は同居家族が運転する家庭に住んでいます。
- ・ 約3割は、階段の昇り降りなどに身体上の不便を感じている人です。



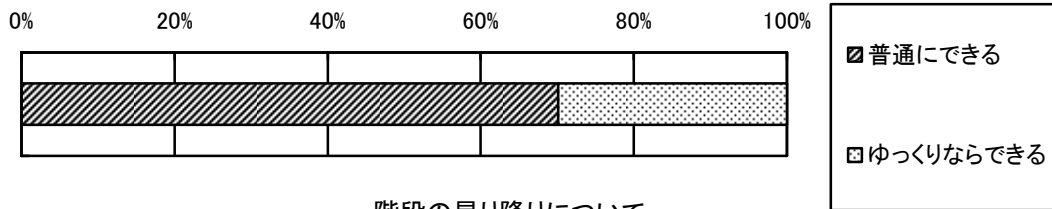
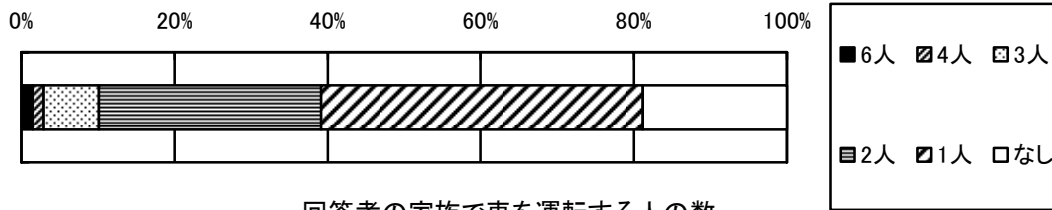
回答者の年齢構成



回答者の性別

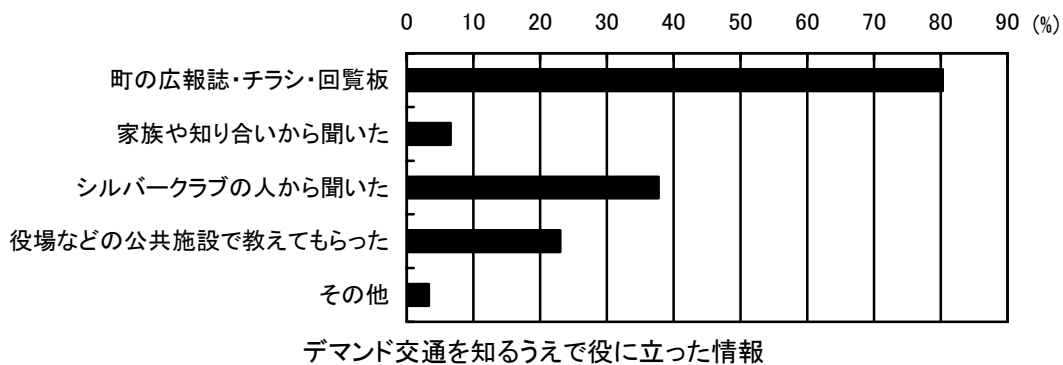
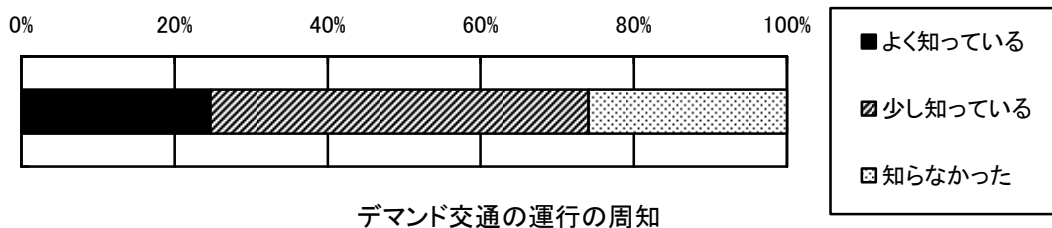


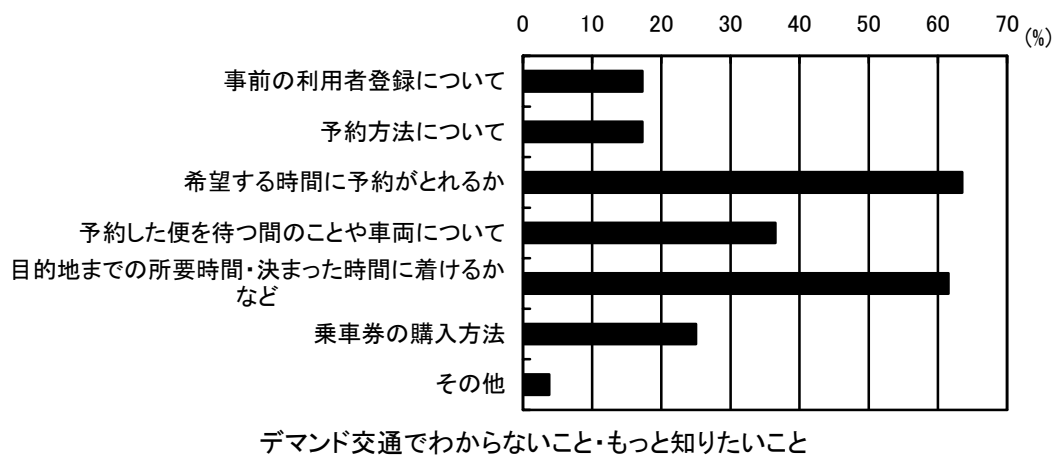
回答者の免許の有無



(4) デマンド交通の周知・案内について

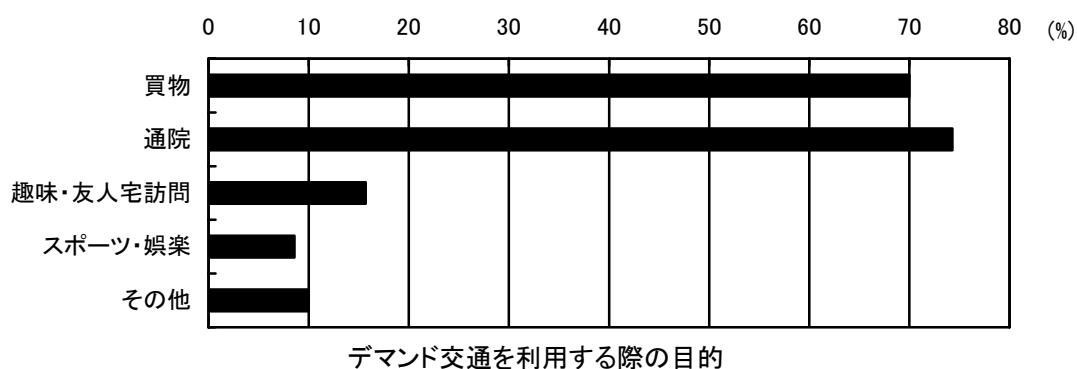
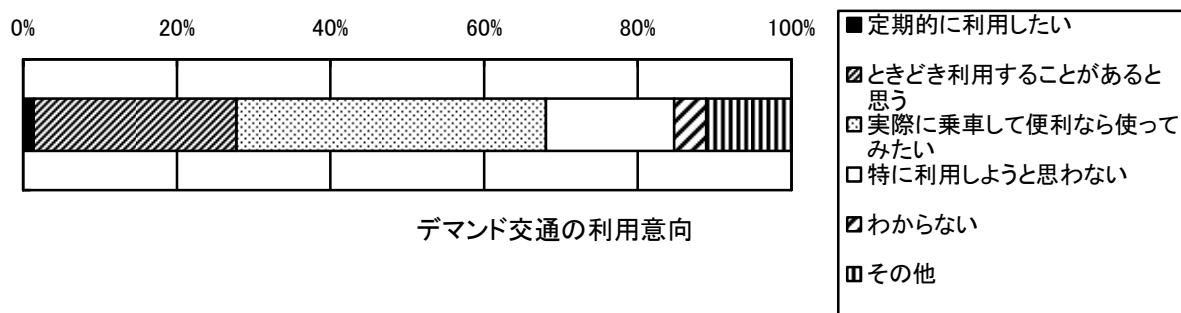
- 各説明会の時点では、74%の人がすでにデマンド交通が運行されることを知っていました。
- 情報を入手した手段は、約 8 割の人が町の広報紙等、また、約 4 割の人はシルバークラブの人から説明会以前に聞いていたとの回答でした。
- 知りたい情報として、予約が希望通りに取れるか、また思った時間に到着できるかに関心が高いことがわかりました。
- 今後は、予約の成否の状況や、予定からの遅れといった情報についても提供することにより、より利用してみたいと思ってもらえる可能性が高まると考えられます。

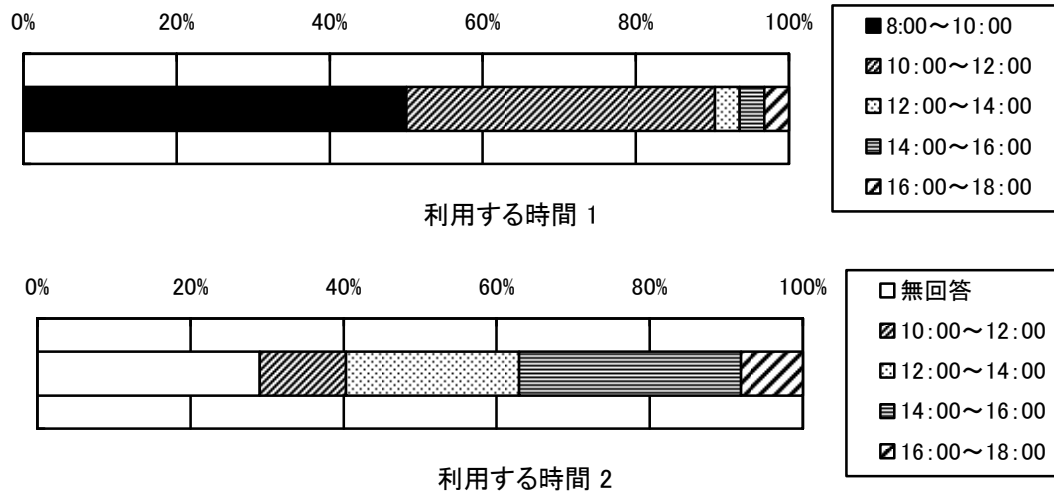




(5) デマンド交通の利用意向

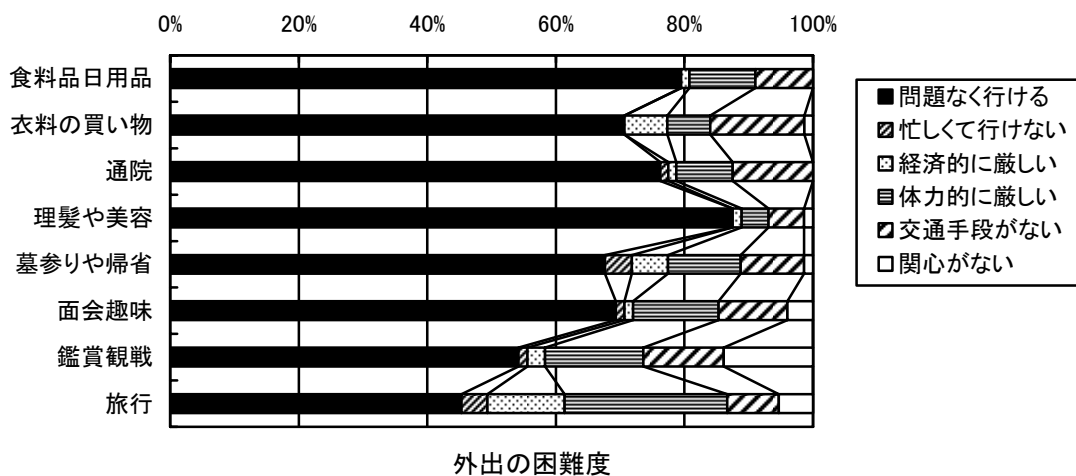
- ・ 「実際に乗車して便利なら使ってみたい」との回答が最も多く 4 割を占めています。
- ・ 目的では、買物と通院が同程度で高い割合を占めています。
- ・ 「利用する時間帯 1」は、自宅からの往路で利用する時間帯と考えられますが約 9 割が午前中に集中しています。
- ・ 「利用する時間帯 2」については、自宅への復路で利用する時間として答えたケースのほか、「利用する時間帯 1」で答えた 2 時間枠のなかで戻ってくるような利用を考えている人については、その次に自宅から往路で利用する可能性のある時間帯として回答していることが考えられます。午後が約 6 割となっており、午後も相当数の利用が見込まれるものと考えられます。
- ・ 事後調査の際に、一度でも使ったことのある人にその評判や改善すべき点などを伺うことが重要と考えられます。

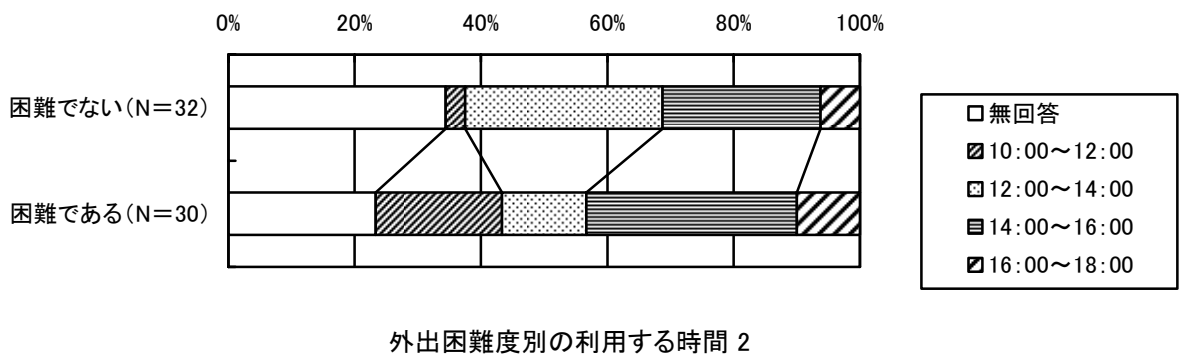
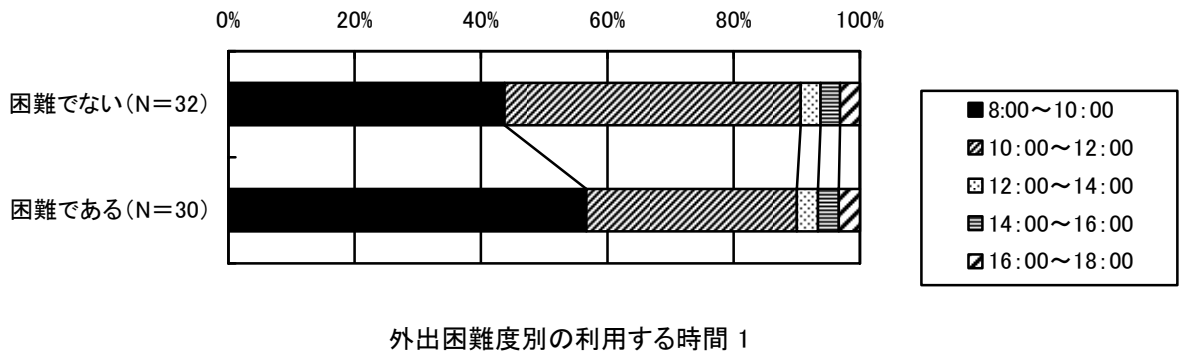
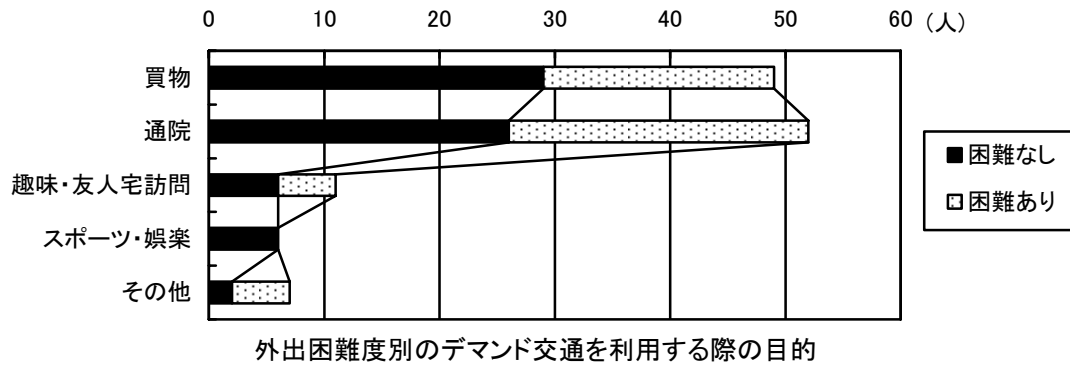
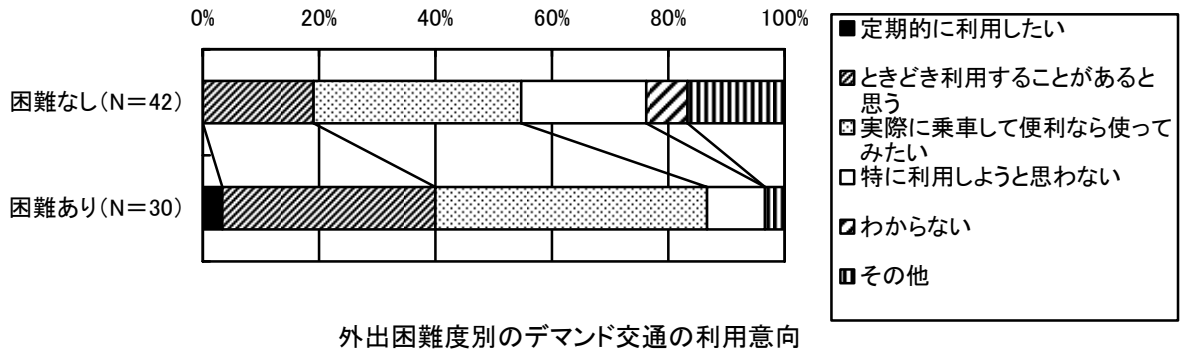




(6) 外出の困難度別の分析

- さまざまな外出目的で思うように外出ができているかを聞いた結果、2割程度の方は、いずれの外出目的でも「体力的に厳しい」「交通手段がない」に該当し、交通手段の整備を期待していると考えられます。
- いずれか一つ以上の外出目的に「体力的に厳しい」または「交通手段がない」に回答した人は30人と全体の42%に達しています。これらの人と、それ以外の人に分けて、デマンド交通の利用意向を分析したところ、困難を抱える人はデマンド交通への関心は高く、8割以上の方が使ってみたいと思っています。
- 事後調査では、これら外出に困難を抱えていた人が、デマンド交通を利用することでどのように変化していくかに着目して分析を行っていく予定です。
- また、これら移動に困難を感じている人とそれ以外の人との比較では、利用目的、往路の時間帯にはほとんど違いがなく、帰路において移動に困難を感じている人は午前中に帰宅する割合が相対的にやや高いことがわかります。





平成 23 年度評価・検証事業の実施について (デマンド交通 事後調査の実施予定)

(1) デマンド交通非利用者アンケート

◆ 目的

- ・ アンケート調査によって利用しない理由・原因を明らかにし、今後よりデマンド交通による外出を顕在化させ、生活の活性化につながるような対応策を検討する上での参考とする。

◆ 実施方法

- ・ デマンド利用登録者のうち、利用頻度の低い方から 200 人程度を抽出し、郵送配布、着払いの返信用封筒を同封して郵送回収を行う。
- ・ 予定として、9 月下旬頃に配布、10 月下旬までの返信を依頼する。
- ・ 回収率 50%、回収数 100 票を目標として想定する。

◆ アンケートの質問項目

- ・ デマンド交通の周知度（もっと知りたいこと、不安なことなど）
 - 情報提供を行う上での参考とする。
- ・ デマンド交通を利用しない理由・問題点
 - システム自体についての利用しにくい点、利用を妨げている原因を明らかにし、将来的な改善課題を絞り込む。
 - 一度も利用していない人の場合には、情報が良く伝わっていきなくて利用しにくいと思いつている場合があるので、情報提供の改善を検討する上でも参考とする。
- ・ 外出状況、外出意欲、および、外出のしやすさへの評価
 - 利用しない原因の一つとして、家族が送迎する車などデマンド以外の方法で十分に外出できている場合が考えられるので、その実態を知る。
 - 同様に、外出の目的地が自分にあつたところが見つからない(商店で扱っている品揃えなど)など、さまざまな外出を妨げる可能性のある要因についても、どのような状況にあるのかを知る。
- ・ 身体的特性・生活環境等を含めた個人属性

(2) デマンド交通利用者アンケート

◆ 目的

- ・ 利用することによって、以前に比べて生活にどのような変化があつたかを明らかにし、デマンド交通運行の効果を定量的に示すために用いる。
- ・ 利用しにくい点を明らかにし、よりデマンド交通による外出を顕在化させるための対応策、また次年度以降の車両数等を検討する上での参考にする。
- ・ 利用者の視点での良い点、利便性の高い利用のパターンなどを明らかにし、一般にデマンド交通の PR を行う際の参考とする。

◆ 実施方法

- ・ デマンド利用登録者のうち、利用頻度の高い方から 200 人程度を抽出し、郵送配布、着払いの返信用封筒を同封して郵送回収を行う。
 - 予定として、9 月下旬頃に配布、10 月下旬までの返信を依頼する。
 - 回収率 50%、回収数 100 票を目標として想定する。
- ・ デマンド交通の車内に調査票を置いておき、利用者が持ち帰って記入し、同封の着払い返信用封筒で郵送返却を行う。
 - 車内の掲示で調査を実施していることを周知するとともに、運転手にも声かけを行ってもらう。
 - 予定として、9 月中旬頃の一週間で配布、10 月中旬までの返信を依頼する。
 - 200 部を配布、回収率 50%、回収数 100 票を目標として想定する。

◆ アンケートの質問項目

- ・ 利用実態（利用目的、利用頻度）
 - 運行以前との行動変化で答えてもらう。
 - 属性別の分析では、事前調査結果との比較も行う。
- ・ システムの使いやすさの評価（総合評価、個別の課題等）
 - 予約を断られた経験、予定時間に到着できたかなども評価してもらい、次年度以降の運行方針を定める際の資料とする。
- ・ 外出状況・外出のしやすさの評価、生活(買物等)の満足度への影響
 - アウトカム指標として分析する。
 - 他の交通手段の利用状況や、利用割合も利用者属性として捕らえておく。
- ・ 身体的特性・生活環境等を含めた個人属性

(3) 運行実績データの分析

◆ 目的

- ・ 運行の実績で、利用者にとって不便を強いている点（予約を断らざるを得ない状況、到着時間の遅れなど）がどのような状況にあるのか、実態を明らかにし、今後の対応を検討する上での参考とする。
- ・ 予約の集中状況(時間帯、目的地など)について整理し、わかりやすい形で統計情報として提供を試みることで、利用者の不信感を減らし、また、需要の平準化を目指す。

◆ 実施方法・実施時期

- ・ 予約システム上に記録されている利用実績データを使用する。
- ・ 補足する情報として、運転手への簡単なヒアリングまたはアンケートを実施する。
- ・ 用いるデータは 10 月末時点までのものとする。
- ・ 年内には、次年度の対応策案がまとめられるように分析を行う。
- ・ 統計情報としての示し方は、随時サンプルデータを用いて試行的に検討を行っておき、10 月末のデータで、速やかに周知が行えるようにする。

阿見町地域公共交通意向調査

「デマンド交通実証運行事前アンケート」調査票

阿見町地域公共交通活性化協議会
事務局(阿見町企画財政課, 茨城大学)

アンケートへのご協力をお願いいたします

町では新たな公共交通として「デマンドタクシー」の実証運行を開始します。それに当たって、今後の案内方法を検討するため、また運行後の評価を行う上で必要な現状での皆様の外出状況を知るために、アンケート調査を行うこととなりました。

お答えいただいた内容はすべて統計処理を行い、みなさまにご迷惑のかからぬように取り扱います。調査の主旨をご理解の上、ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お手数をおかけいたしますが、ご記入いただいた調査票は、受け取られてから3日以内に、同封の返信用封筒に封入してポストに投函してください。

【お問い合わせ・連絡先】

阿見町地域公共交通活性化協議会 事務局
〒300-0392 茨城県稲敷郡阿見町中央一丁目1番1号
阿見町総務部企画財政課 担当 山崎, 荒井
TEL 888-1111(代) 内線221・222
FAX 887-9560

以下の質問について、当てはまる番号に○をつけるか、() 内にご記入ください。

A. 運行されるデマンド交通のことについて伺います

問-1 平成23年2月より、阿見町ではデマンド交通の運行を予定しています。このことをどの程度ご存じですか。もっとも近いもの一つを選んでください。

- 1. よく知っている
 - 2. 少し知っている
 - 3. 知らなかった
- } ……問-2 へお進みください
- ……………次ページの 問-3 へお進みください

問-2 これまでデマンド交通のことを知る上で、どういう手段が役に立ちましたか。(複数回答可)

- 1. 町の広報誌・チラシ・回覧板
- 2. 家族や知り合いから聞いた
- 3. シルバークラブの人から聞いた
- 4. 役場などの公共施設で教えてもらった
- 5. その他 ()

問-3 阿見町のデマンド交通の内容について、わからないことや、知りたいことがあれば、お答えください。(複数回答可)

1. 事前の利用者登録について
2. 予約方法について
3. 希望する時間に予約がとれるか
4. 予約した便を待つ間のことや、車両について
5. 目的地までの所要時間・決まった時間に着けるかなど
6. 乗車券の購入方法
7. その他 ()

問-4 運行が始まったら、あなたはどのような利用が考えられますか? 以下の項目別にお答えください。

利用してみたいと思いますか -----

1. 定期的に利用したい
2. ときどき利用することがあると思う
3. 実際に乗車して便利なら使ってみたい
4. 特に利用しようと思わない
5. わからない
6. その他 ()

利用するとしたらおもな移動の目的は(複数回答可)-----

1. 買物
2. 通院
3. 趣味・友人宅訪問
4. スポーツ・娯楽
5. 仕事
6. その他 ()

おもに利用したい目的地はどこですか 2つまで、店舗や病院等の名称をお答えください-----
() ()

よく利用すると思われる時間帯について、行きと帰りを一つずつお答えください-----

1. 8:00~10:00
2. 10:00~12:00
3. 12:00~14:00
4. 14:00~16:00
5. 16:00~17:00

B. 阿見町の公共交通への取り組みについて伺います

問-1 阿見町ではこれまでバス路線の経費補填、福祉巡回バスの運行、コミュニティバス社会実験などを行ってきました。また公共交通活性化・連携計画に基づいて町民の皆さんにとってより良い公共交通の実現のために取り組んでいます。これらのことをご存知ですか。

1. すべて知っている
2. だいたい知っている
3. よく知らない
4. 今回はじめて聞いた

問-2 これからの公共交通に関する取り組みを考えていく上で、あなたも参加したいと思いませんか。

1. 計画の策定や、実験などの企画立案に参加してみたい
2. 近所の人などへの周知・宣伝などに協力したい
3. 実験運行を利用してみてアンケートに答えるなどの協力はできる
4. 参加できない

C. 日頃の外出について伺います

問-1 日ごろの外出について、以下の項目別にお答えください。

外出回数は----- 1.週5回以上 2.週3~4回 3.週1~2回 4.2週間に1回程度 5.それ以下 6.行かない
そのときに、 最もよく利用する 交通手段を ひとつ 選んでください----- 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 路線バス 5. 福祉巡回バス 6. タクシー 7. 自家用車 8. 家族・知人の車に同乗 9. その他()
2番目によく利用する 交通手段を ひとつ 選んでください----- 1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 路線バス 5. 福祉巡回バス 6. タクシー 7. 自家用車 8. 家族・知人の車に同乗 9. その他()
路線バス(JRバス、関鉄バス)はどのくらいの頻度で利用しますか----- 1.週5往復以上 2.週3~4往復 3.週1~2往復 4.2週間に1往復程度 5.それ以下 6.使わない
福祉巡回バスはどのくらいの頻度で利用しますか---- 1.週2往復以上 2.週1往復程度 3.2週間に1往復程度 4.月1往復程度 5.それ以下 6.使わない
タクシーはどのくらいの頻度で利用しますか----- 1.週2往復以上 2.週1往復程度 3.2週間に1往復程度 4.月1往復程度 5.それ以下 6.使わない

問-2 外出したいときに、利用できる交通手段がなかったために外出できなかった経験は、この1ヶ月でどのくらいありましたか。

1. 2日に1回以上 2. 週2~3回程度 3. 週1回程度 4. 2週間に1回程度(月2~3回)
5. それ以下 6. まったくない

問-3 次のことから自分で行きたいときに行けますか? それぞれについて1~6の選択肢から該当するものを選んで○をつけてください。(複数に該当するときは複数に○を付けてください)

	1.	2.	3.	4.	5.	6.
	問題なく 行ける	忙しくて 行けない	経済的に 厳しい	体力的に 厳しい	交通手段 がない	関心が ない

記入例	1.	2.	3.	4.	5.	6.
-----	----	-----------	----	----	----	----

ここから下にご記入ください

食料品・日用品の買物	1.	2.	3.	4.	5.	6.
衣料の買物	1.	2.	3.	4.	5.	6.
通院	1.	2.	3.	4.	5.	6.
理髪や美容	1.	2.	3.	4.	5.	6.
墓参りや帰省	1.	2.	3.	4.	5.	6.
友人との面会や趣味の集まりに行く	1.	2.	3.	4.	5.	6.
芸術鑑賞やスポーツ観戦	1.	2.	3.	4.	5.	6.
泊まりがけの旅行	1.	2.	3.	4.	5.	6.

D. あなたご自身のことについて伺います

- あなたの年齢は ----- 1. 60代 2. 70代 3. 80歳以上 4. その他()歳
- あなたの性別は ----- 1. 男 2. 女
- 運転免許 ----- 1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. 免許なし
- ご自分で運転しますか ----- 1. はい 2. いいえ
- 自由に使える車はお持ちですか(家族に運転してもらえる場合を含みます)----- 1. はい 2. いいえ
- 同居のご家族で自動車を運転する方の人数は -----自分以外に ()人
- 100m以上を休まず歩けますか----- 1. 普通にできる 2. ゆっくりならできる 3.できない
- 一人でバスに乗り降りできますか ----- 1. 普通にできる 2. ゆっくりならできる 3.できない
- 「階段の上り下り」はできますか ----- 1. 普通にできる 2. ゆっくりならできる 3.できない
- ふだん杖や手押し車は使っていますか ----- 1.使っていない 2.たまに使う 3.常に使っている
- 高齢者で介護保険の介護度認定を受けていますか
1. **要支援**の認定を受けている 2. **要介護**の認定を受けている 3. 認定を受けていない
.....1,2.に答えた方は差し支えなければ介護度もお答えください → ()
- 最寄りの路線バス(関鉄バス、JRバス)のバス停まで、どのくらいの距離がありますか
1. 50m以内 2. 50～100m 3. 100～300m程度 4. 300m以上 5.わからない
- 最寄りの福祉巡回バスのバス停まで、どのくらいの距離がありますか
1. 50m以内 2. 50～100m 3. 100～300m程度 4. 300m以上 5.わからない
- あなたのお住まいを小学校区でお答えください ---
1. 阿見小学校区 2. 第一小学校区 3. 第二小学校区 4. 本郷小学校区 5. 実穀小学校区
6. 君原小学校区 7. 舟島小学校区 8. 吉原小学校区

ご協力ありがとうございました

以上で質問は終わりです。最後に阿見町の公共交通にご意見があれば、自由にお書きください。今後、公共交通の改善の検討を行う上での参考にさせていただきます。